

磐城時報

行發日一卅
 編輯兼發行 岡田弘成
 印刷所 磐城時報社
 印刷部 磐城時報社
 發行所 磐城時報社
 一部金貳圓 一月金拾圓
 廣告料一行十四字計五十五錢
 日刊(日曜祝祭日)週日休刊

電九・九九番
 店商屋釜

共同聲明

創刊以來長年月に亘つて甚大なる御援助を辱うした五紙は本號を最終として茲に廢刊する事となつた。
 顧るに支那事變勃發以來滿三年四ヶ月、高度國防國家を建設し、大東亞共榮圈を確立して、肇國悠久二千六百年の光輝ある歴史を恒劫不磨に光被せしめんとする所謂新体制の基礎が万民翼賛の國民組織を確立するに存する限り、吾々國民は此際一億一心以て世紀の命ずる方面に向つて新なる發足を敢行せねばならない。吾人の時局即應とは何ぞや。國論統一の新時代に善處し、一面國策的分野に對してのみ許されてゐる物資の消費節約を徹底的に實踐躬行するに在る。
 今や吾人は之らの動向に鑑み勇敢に去就を決すべき秋に到達した。時局はまさに自由主義的放恣なる事業の存在を否定してゐる。眇たる地方の小紙乍ら長い間御愛讀を垂れられ、其他万般の御援助を仰いだ愛讀者各位に對し涙を以て積年の御眷顧を深謝し併せて時局の命ずる處に向つて各社自發的に廢刊するに至つた事情の御諒解を懇願する次第である。

昭和十五年十月三十一日

(いろは順)

- 磐城時報社長 佐藤作平
- 磐城新聞社長 蓮沼龍輔
- 常磐毎日新聞社長 川崎文治
- 新しいわき社長 半川隆喜
- 常磐新聞社長 伊藤谷次

あす興亞奉公日 女軍雄々しく出動

平市では明日興亞奉公日に午前九時、前八時から縣社子會社社々頭日の丸旗持參で組合幹部が鑓で歸還軍人感謝會を催す。終つて引率二里余の石森山に登りて皇軍の武運長久祈願を行ふ。山頂の石森觀世音に皇軍の武運四倉町でも郷軍分會主催で町民長久を祈願する。湯本町藝妓、が町町諏訪神社に參拜、皇軍の酌婦、女給は聯合して午前八時武運長久祈願後、軍人に賜はり町町縣社溫泉神社に參拜、武運たる勳語を捧讀、臣道實踐の實長久祈願の後、各組合幹部が手をあぐく徹底せしめることに分けて指揮し玉川村に出動、なつた。尚ほ平藝妓屋組合では皇旗を行ひ全部賣却して國防この一日を有意義に過すため金に献金することになつた。藝妓六十余名に質賣の氣鼓吹と

木炭配給機構考慮 公平な配給をはかる

木炭需要期を控へて木炭の需給の事情を知悉してゐる隣組の組の回消をはかるため平商業組合長の手を経て配給することが最近では去る二十五日から小賣人の適當な方法だとされてゐる。裏帳簿を實施してゐるが、更にしく、大休十一月月中旬から實施需要者の買留の防止と公平な配給をせらるゝが、配給量は一入給機機立に關し具休案を講究一ヶ月二頁五百見當とされて中である。同案によれば各家庭を

明日から酒値下げ 闇ご品質低下を警戒

左黨がお待ちかねの清酒はいよいよ一日から全国的に値下げ實施され従来の公定値一升上酒二圓七十錢、並二圓四十錢より、上酒は五十錢、並は四十錢安く飲めるわけとなつたが、この酒の値下げは平地方にどう響くかこれを打診してみる。
 平市、石城郡下の醸造家は現在在卅五軒だが、値下り前にわれ先にと倉出しを行つたため今は殆んど手持品がなく、そのかわり酒問屋は相當豊富

節婦表彰 泉村で

石城郡泉村では同村下川出身の節婦太一郎等兵の妻美代志(三三)を「純後の純婦」として二十六年國民奉祝日の十一月十日表彰する。美代志さんは夫が出征中は中風症の祖母ツル(九)外三子を養ひながら眼病アリと本月實踐事項を仲よく協夫給を助けて稲田一町歩、畑三反歩を耕作する外、小名濱各方面へ野菜賣りを寸暇を惜しんで働き、また納税組員の模範として評判となつてゐた。村役場より軍事扶助料を八月一日午後八時頃市内に買物贈ることになつたが、扶助料を載せて意けてゐて宅せぬので夫源治より捜査部をば部民にも戦地の夫にも申出した

妻の搜索願 隣組整理

平市城山下居住小野源治(四六)模範として評判となつてゐた内縁の妻武藤セン(三五)は去る村役場より軍事扶助料を八月一日午後八時頃市内に買物贈ることになつたが、扶助料を載せて意けてゐて宅せぬので夫源治より捜査部をば部民にも戦地の夫にも申出した

廢刊の御挨拶

吾が磐城時報は別欄共同聲明の通り本第七千九百二十五號を最終號として永遠に廢刊することになりました。回顧すれば大正五年故土屋寛氏が唯一の地方紙として雄々しく發刊、大正八年佐藤作平經營に移り現在まで數へ歳二十五大過なく紙齡を加へ來つたことは偏に御後援者各位の賜と衷心感謝感激してゐる次第であります。今や時局は三千歳一週の聖業達成に萬民舉げて邁進すべき秋だと思ひます。
 過去二十五年間の各位に對する感激贈や回顧録もさる事ながら吾々は非常時局下の邦家のため愛兒を顧み、徒らに死兒の齡を數へるよりも銃後奉公の急務が眼前に山積してゐます。愛兒に離れ直ちに時局即應の旅立ちをするに當り極めて簡單ながら積年の御鴻恩に應へる意味で御挨拶まで、以上申し上げた次第です。

昭和十五年秋十月三十一日
 磐城時報社
 社長 佐藤作平
 記者 岡田弘成

昂奮の最高潮

お待たせの「蛇姫様」

晴雲閉ざす島山に正邪入り亂れて怪火燃る。寧ろ邪智佐伯左衛門の魔手に琴姫、千太郎の命危く、刺客一刀齋の活躍も遂に空し。島山三萬石を恐るの淵より救ふ者は果して誰か？

續蛇姫様 十一月一日より公開

東寶映畫

ならではの豪華

オールスターキャスト

續蛇姫様主要人物

●植原一刀齋 大河内傳次郎、妖雲低送する野州島山城の陰謀を聞き本家の隠密として單身危地へ乗り込んだ一代の剣豪。一刀齋市井に身を潜めて七不思議の謎の本態を徹く、嗚呼一刀齋の豪刀閃く。

●ひのきや千太郎 (長谷川一夫) 父を討たれ家を焼かれ流浪の旅から懐かし故郷の地を踏めば最愛の妹すら骸となり果てたと知つた千太郎、女紛ふ優姿に報復の血はたぎ立ち、權勢佐伯一門に敢然挑戦の火ぶたを切る。

●氏家兵馬 (黒川彌太郎) 手練の投槍益々冴えておすが一閃貫いた、好物佐伯の腹心兵馬の眼光は凄愴な光を放ちて更に執念深く一刀齋を千太郎を、闇にがくつてつげ廻る？

●琴姫 (入江たか子) おらんだ繪巻の隠密三斗崎山に立つ怪しの煙、妖氣四圍にたちこめ最中にそく立つ島山城に獨りおはす琴姫の身

堂々廿一日より公開

十一月二日、三日通し興行

(何時お入りになつても全部御覧になれます)

平東寶映畫劇場 **聚樂館** 電話四七〇

かまぼく製造
折詰仕出
お惣菜さつま揚・吉原揚

平市一丁目

スズキ

配達人入用 電話一四一四番

冷凍物 専門店

日本水産會社製品
國策鯨の赤肉 (百斤三十錢)

冷凍真鯛、鰯、ハム、ソーセイジ類
鹽干物、罐詰、佃煮類

平市三丁目

ヒノマル食品店

電話二二八番



開業

民刑法律事務所一般
内外特許事務一般

辯護士 増田 法律事務所
特許事務所

平市檜植小路一
電話平六二五番
振替仙臺一〇九三五番

内臓外科
整形外科
レントゲン科

松村外科

醫學博士 松村 亨
平市南町 松村醫院外科部

肋膜・気管支・關節・神経痛・肺炎・ロイマチス
漢方 生公華
貼薬 湿布で名薬

平市五丁目角
山野邊藥局

カリエス 高血壓 に特効
二葉滋器治療所

平市大町 電話一九三番

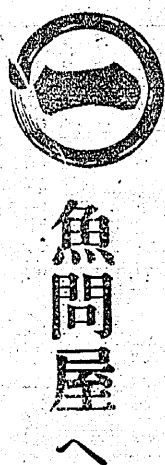
奉祝紀元二千六百年
奉納生花陳列

▲期日 十一月十日・十一日
午前九時より午後八時まで

▲會場 平市公會堂日本間
池坊龍生派華道研究会

岡田華悦社中

氷の御用は
電話二一三番



魚問屋

鯉節製造販賣
(日本生命平代理店)
平市四丁目 志賀盛榮商店

和文タイプライター
最新事務用品類
文房具一式
製圖並に測量用品
謄寫版並に附屬品

藤 電話三七〇番
森 電話一五〇番

漢方 百草根
塗布藥

◆陸海軍病院御用藥
平代理店 丸龜商店
平市大町 電話一三三番